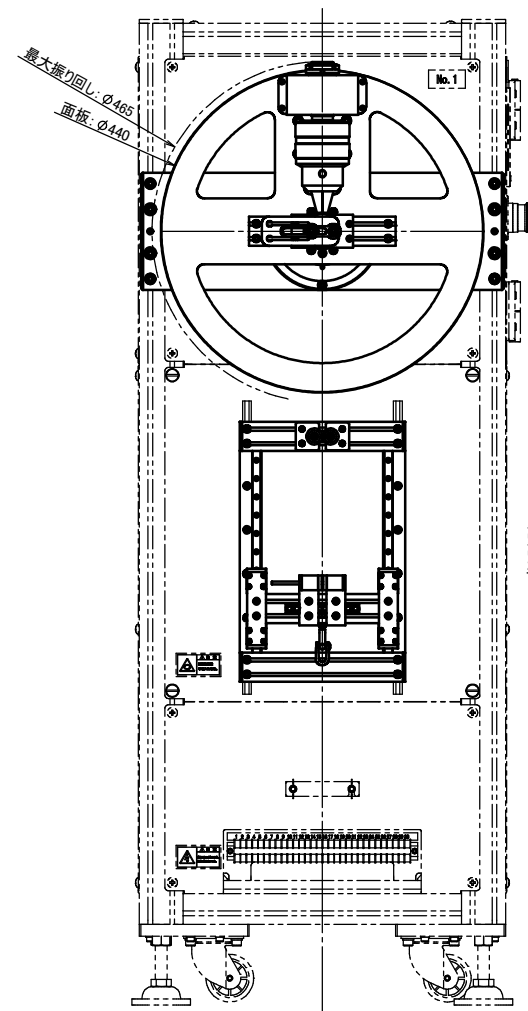
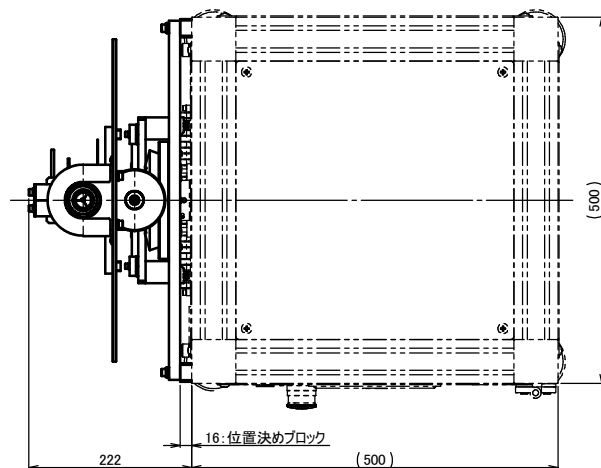
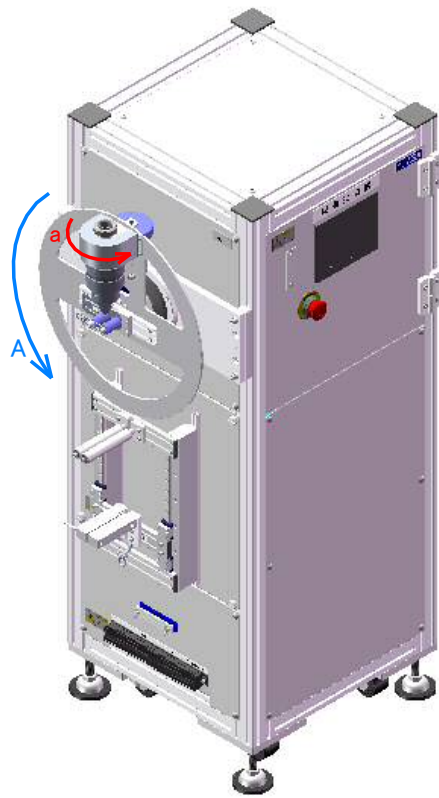
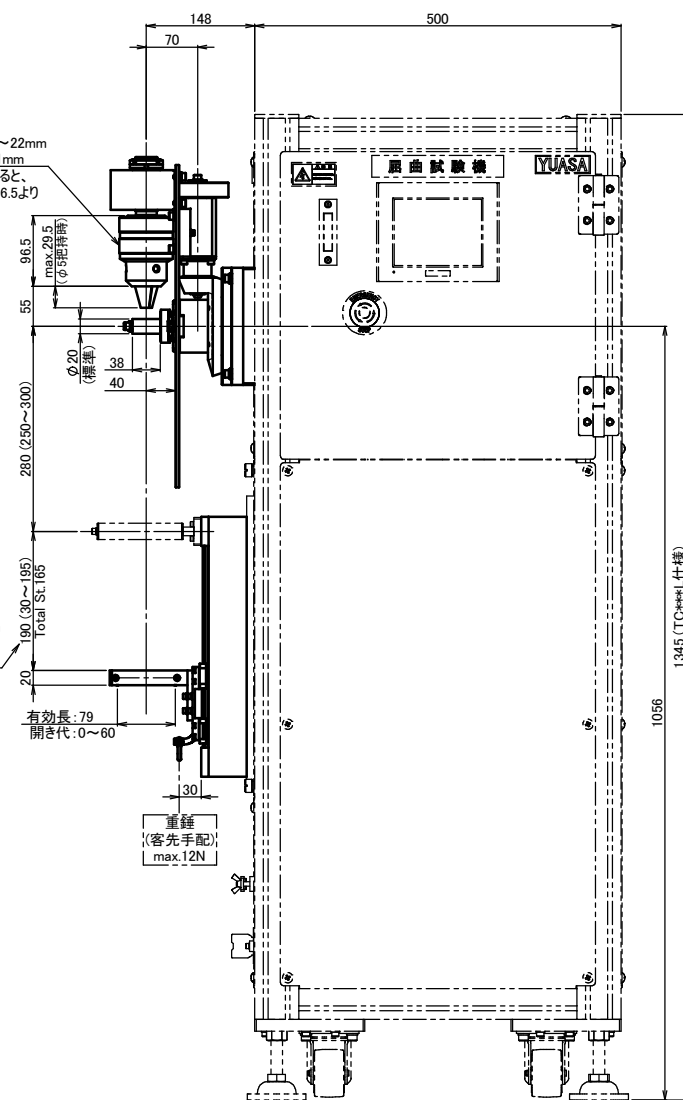


参考) 屈曲方向と検回方向の関係

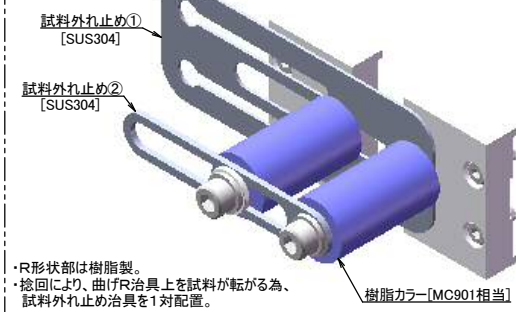


ドリルチャック
可動範囲: φ5~22mm
貫通内径: φ21mm
チャックを開閉すると、
爪先端位置が96.5より
出入りします。

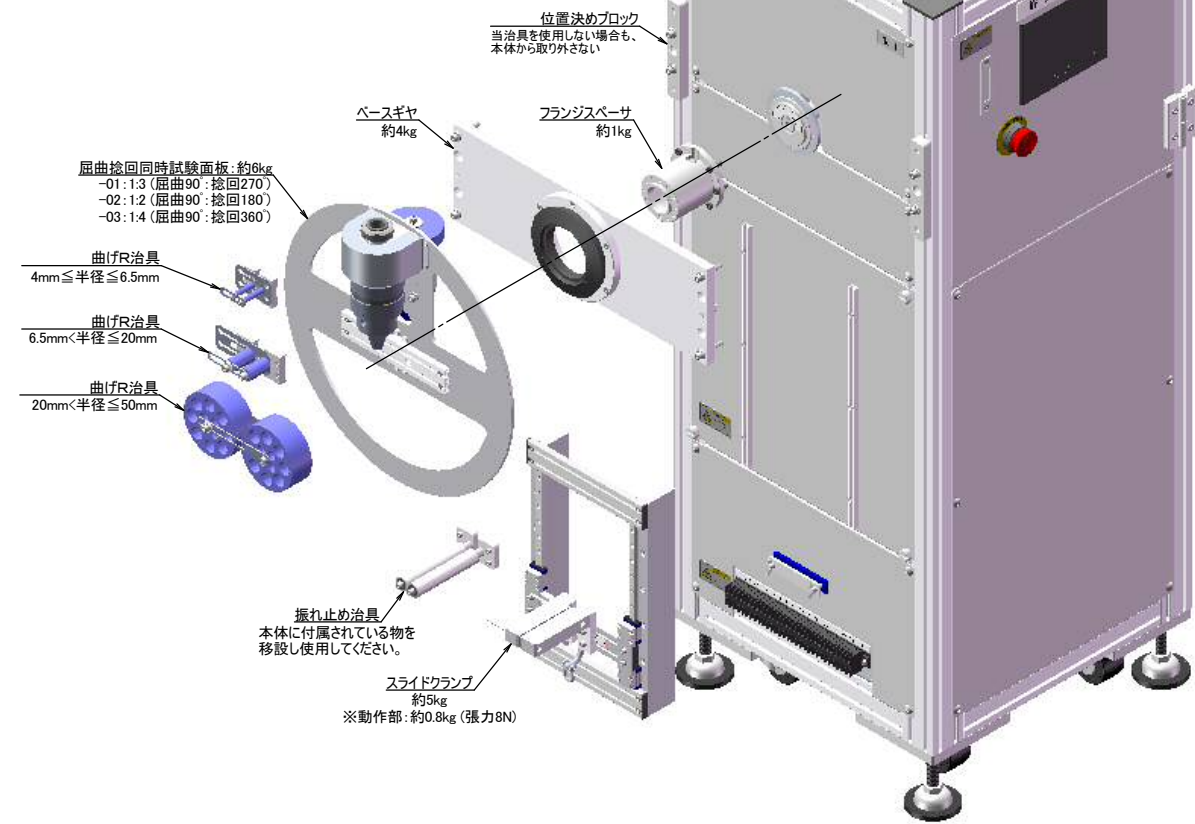
試験φ20mm、屈曲半径50mm
試験基準での±180°屈曲 &
270°検回試験を想定



曲げR治具 概略部品構成



・R形状部は樹脂製。
・検回により、曲げR治具上を試料が転がる為、
試料外れ止め治具を1対配置。



位置決めブロック
当治具を使用しない場合も、
本体から取り外さない

ベースギヤ
約4kg

フランジベース
約1kg

屈曲検回同時試験面版: 約6kg
-01: 1.3 (屈曲90° 検回270°)
-02: 1.2 (屈曲90° 検回180°)
-03: 1.4 (屈曲90° 検回360°)

曲げR治具
4mm ≤ 半径 ≤ 6.5mm

曲げR治具
6.5mm < 半径 ≤ 20mm

曲げR治具
20mm < 半径 ≤ 50mm

振れ止め治具
本体に付属されている物を
移設して使用してください。

スライドクランプ
約5kg
※動作部: 約0.8kg (張力8N)

治具概要	丸断面を主とした線状の試料に対し、屈曲による応力と検回による応力を同時に負荷する試験治具。 ※屈曲方向と、検回方向の関係は一定で、変更する事はできない。 ※原則として、無負荷屈曲試験治具との併用はできない。			
試験仕様	対象試料 : φ5mm ~ φ20mm の線状体 屈曲角度 : 0° ~ 180° (曲げR治具が十分に大きく、試料と治具が干渉しない事) 検回角度 : 90° 検回角度 270° < 標準 > ※面版 Assy部を段取り替える事で屈曲角度90° ⇄ 検回角度180°、 屈曲角度90° ⇄ 検回角度360°より選択変更可能。 許容検回トルク : 10 N・m 試験速度 : 屈曲試験角度±90°の時、次の通りとする。 ただし、スライドクランプの上昇/下降動作が、試験機の動作に追従できずに暴れない事。 1 治具/駆動源 ⇒ 最高試験速度90 r/min 2 治具/駆動源 ⇒ 最高試験速度60 r/min 曲げR治具 : 曲げ半径4~50mm < 標準: 10mm > 張力負荷 : 最大20 N (スライドクランプ8 N + 重錘12 N) ※スライドクランプ摺動部の抵抗、動作加速度は考慮していません。			
材質	第3角法	尺度	名 屈曲試験機	
質量	図中に記載	1:5	TC***L (R)	
表面処理	作成日付	2013.07.25	称 屈曲検回同時試験治具仕様	
熱処理	承認	守谷	図 守谷	
	検図	佐々木	番 TC60S003-01	
	設計	安藤	TC60S003-01	